

マングローブは未来を拓く！ (SDGsリーダー育成事業)

2023年 学生パートナー募集概要とQ&A



学生パートナー募集概要

- 募集期間：環境、海外、子どもに関心がある方
- 募集枠：学生団体（10名以上）1団体
- 募集期間：2023年1～5月 *
- 活動期間：6月～9月くらいまで。そのうち現地で10日間～2週間。
- 活動概要：LOBBのグローバル環境教育の一環として、子ども達とマングローブ森を育てる
- 費用：航空券と現地研修費で約20万円前後

* 参加団体が確定次第、募集を締め切ります。



学生パートナー募集概要

タイムライン(仮)

- 2023年6月 キックオフ
- 2023年7月 オンライン研修／渡航準備
- 2023年8ー9月 フィリピン渡航
“マングローブ植林ワークキャンプ”(仮) *
- 2023年10月 日本に帰国後アウトプット活動

* 実際の活動内容は、学生の皆様と決めていきます！

できること: マングローブ植林、コミュニティ体験またはホームステイ、小学校で環境教育や交流



マングローブは未来を拓く！ 学生パートナー募集！

Q1. マングローブは未来を拓く！ってどんな活動ですか？

プロジェクトの背景

世界の共通目標である持続可能な開発目標(SDGs)は、国という枠を越えて同時多発的に取り組む必要があります。特にプラスチック汚染は海を越えて繋がる深刻な問題で、その解決には海外とのパートナーシップの構築が不可欠です。

私たちNPO法人LOOB JAPANは、2001年からフィリピンで活動する国際協力NGOの日本法人です。もともと2006年にギマラス島で発生した重油タンカー沈没事故がきっかけで、子ども達への環境保護活動をスタート。10年間で8.2ヘクタールのマングローブを植樹しました。



マングローブは未来を拓く！ 学生パートナー募集！

Q2. マングローブは未来を拓く！ のゴールはありますか？

新プロジェクト全体のゴール

2023年から新しいコミュニティ(Dumangas町)で**18カ月で5,000本**の植樹を目指しています。この活動には、ごみ山で活動している中高生リーダーや現地大学生が主体的に参加し、地域の包括的な環境啓発を推進しており、**今回募集しているのは、日本側の学生パートナー**なります！

- プロジェクト期間:2023年1月から2024年6月まで(18カ月)
- 事業地:イロイロ州Dumangas町(人口69,000人の漁村)
- 植樹目標数:5,000本(植樹面積は1ヘクタール:100m*100mの広さ)
- 青少年参加数:日本から10~30名(インターン&ボランティア)
- 青少年参加数:フィリピンから100名(子どもから大学生)



事業地から皆様へのメッセージです！本プロジェクトには現地学生も多数参加しています。

マングローブは未来を拓く！ 学生パートナー募集！

LOOBのSDGsリーダー育成事業



活動の流れ



1 貧困削減
ごみのアップサイクル活動

2

国際理解・フェアトレード販売
グローバル教育

SDGsリーダー育成

3

環境啓発・リサイクル / 海岸クリーンアップ



海を越えてパートナーシップを構築しよう！

マングローブは未来を拓く！ 学生パートナー募集！

Q4. この活動でどんなソーシャルチェンジが生まれますか？



フィリピンのリーダー育成と
子ども達への環境啓発が進みます！

LOBは長年、ごみ処理場があるコミュニティでも支援活動を行っており、人間が生み出すプラスチックの汚染物が海洋資源に影響を与えていることを間近で見てきました。

今回のプロジェクトでは18カ月で5,000本（植樹面積は1ヘクタール、100m * 100mの広さ）を目標にしています。この活動にフィリピンはもちろん日本からも多く関心を持ってもらい、海を越えて環境破壊を食い止める人材を育成したいと考えています！



マングローブは未来を拓く！ 学生パートナー募集！

Q4. この活動でどんなソーシャルチェンジが生まれますか？



日本での国際理解が進みます！

フィリピンでマングローブ植林をした後、アウトプット活動として日本の教育現場で活動報告をしませんか？

途上国で行っているごみ問題や海洋資源の消滅について知ってもらい、グローバルな視点で環境保護への理解を深めてもらうことができます。

フィリピンでの植林するだけでなく日本の子ども達に成果を還元していきます。



講師&ナビゲーター紹介

小林 幸恵（LOOB代表理事）



小林 幸恵。1974年北海道北見市出身。藤女子大学在学中にフィリピンYMCAのワークキャンプを経験し、その原体験に導かれるように、大学卒業後にマニラに単身移住。NGOや日系企業での経験を経て、“青少年の健全な成長が世界から貧困と戦争を減らす最良の手段”と信じ、現地の仲間とともにフィリピンの非政府組織(NGO)LOOBを創設した。

以来、日本とフィリピンの草の根交流事業、SDGs研修事業、貧困層への生計支援事業など累計20以上のプロジェクトを立ち上げ。これまでイロイロ市に受け入れた日本人ボランティア数は2,600人以上。在フィリピン24年目で夫と13歳の息子、白い犬、日本人インターンや現地スタッフと大所帯で暮らす。趣味は仕事終わりのビールと映画鑑賞。コロナ以降はパン焼きも。

マングローブは未来を拓く！ 学生パートナー募集！

たくさんの学生さんのご参加をお待ちしております！
下記からお気軽にご連絡下さい。

➤ 参加方法

<https://www.loobinc.com/form.html>

上記ページにあるメールまたはLINEから
ご相談下さい。

件名:[マングローブパートナー希望]

- お名前
- 学校名
- 年齢
- Eメール



Let's do the
Mangrove
for future!